

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第十五回ディズニー・チャンネル／ディズニーXD放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2010年12月03日(金) 17:30~19:00
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 7
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
加藤 諦三
木下 美子
中川 真弥
前田 耕作
山田 顕喜
湯川 れい子

その他、ディズニ : エディー・カックス
ーからの出席者 (バイスプレジデント&ゼネラルマネージャー/
編成部)
アイリーン・ハンベルガー
(プログラミング・シニアマネージャー/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
 - ・「ワード・ワールド」
 - ・「グッドラック・チャーリー」
 - ・「ロズウェル〜星の恋人たち〜」
 - ・「爆音家族」
 - ・「ジャングル・ブック」

審議の概要

1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- ディズニー・チャンネルでは、夜9時からアニメが放送されるようになり、映画枠は22:00になった。
- プレイハウス・ディズニー内にも、長編映画を放送する枠を設けた。
- 『スティッチ!』の第3シーズンが放送開始した。今度のシリーズでは、ユウナとスティッチはイザヨイ島を離れ、沖縄ニュータウンという場所を舞台に新しいキャラクターたちとのストーリーが展開されることとなる。
- 土曜日18:00に、『東京ディズニーリゾート My Map!』が8月から放送されている。
- 土曜日22:30以降は、『ロズウェル』などのハイティーン向けの作品ラインナップに変更された。
- 『フィニアスとファーブ』は2008年より放送が開始されているが、ここに来てかなり人気が出てきている。
- 実写ドラマ「ハンナ・モンタナ」のファイナルシーズンにあたる『ハンナ・モンタナ・フォーエバー』は、予想どおり人気が高かった。

- ディズニーXDでは、平日の17:00~18:00に、ウィニングフィールドという時間帯(枠ではないが)を設けて、『メジャー』や『イナズマイレブン』を放送中。
- 『イナズマイレブン』は、現在テレビ東京とキッズステーションでも放送されているが、とても人気がある。
- 『かいけつゾロリ』は相変わらず好調。
- 今回見た『爆音家族』は、ディズニーXDで既に放送されているのか?
- 順調に人気が出始めているところ。実写ドラマシリーズは男の子向けには受けがよくないことが多いが、この番組に関しては、男の子からの人気も高い。
- 確かに今回見た作品の中では、自分の子供たちにも一番受けがよかった。

- 今年6月3日(木)18:55に放送されたミニシリーズ『ザ・休み時間』の第7話「勉強デートの為に」の中で、登場人物が付け鼻をして西洋人のふりをするというシーンがあった。これについて視聴者の方から、日本のテレビ番組では度々見かける類のシーンではあるが、ディズニーがこういった

ものを取り入れるのはいかかなものか、というご指摘があった。

- 今内容を見せてもらったが、外国人は鼻が高く日本人は低い、くらいの認識なのでは？
- アメリカで作られる番組等で日本人を表現する時も、結構オーバーな表現や描写であったりもするし、これイコール差別的とは感じない。
- 配慮が足りなかった面もあるかと思われるので、今後の制作の参考にしていきたい旨をお伝えしている。

2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ワード・ワールド』について：

- ワードフレンズと呼ばれる動物のキャラクターたちや、背景等、ありとあらゆるものが英単語で作られている魔法の世界が舞台。視聴する子どもたちもワードフレンズと一緒に文字探しをしたり、歌に合わせて英単語を完成させたりして楽しめる作りになっている。
- アメリカの教育省の支援を受け、3～7歳の子供向けに基礎的な読み書きの能力を育てるために制作された作品。アジアでも多くの国々で放送されている。
- 例えば10話分など、本として出版されていると、活かせる機会が広がるのでは？
- DVDが出れば、ぜひ欲しい。英語の教材として期待できる。
- アメリカでは、キャラクター自体も人気がある様子。
- 英語の場合、横文字になるため、変形／単語としての変化が付けやすいので、その点が良い。日本語や漢字の場合は、動きをつけにくい。
- 小さい子供は動物に興味を持つ。日本よりもアメリカの子供たちの方が、動物に興味を持ちやすいのだろうか？
- ストーリーが視覚的に理解できるのは良い。
- 親せきの子供にもあげたいと思う作品。

『グッドラック・チャーリー』について：

- 生まれたばかりの妹チャーリーのために、本作品の主人公であるテディが、自分たち家族の生き様や、学校生活で直面する問題などについて、

ビデオ日記を残してあげるという内容のストーリー。

基本的に、ストーリー自体は4人の子供たちの目線で進むが、大人も笑って楽しめるようなテーマ（大人目線）も多く含まれている点が、従来のディズニーの実写ドラマとは少々異なる。

- 赤ちゃんに負担がないように制作されていると思われるが、ここまで表情豊かな赤ちゃんは、俳優としてもすごいと思う。
- 大家族の中に赤ちゃんが入ったということで新しい展開がある、という成長記録を見るようで展開が楽しい番組だ。
- 日本の子供は、自分の後に弟や妹が生まれた際にここまではっきりと気持ちを表させられない。次男坊ゲイブが自分たちの気持ちを代弁してくれるようで嬉しい、という目で見ている子供もいる。
- 普通の家庭が普通の家に住んでいる生活模様が垣間見られるという面は面白いかも。
- 本格的なホームコメディな感じがよい。日本のホームコメディだと、お爺さんやお婆さんが居たりして、少々暗くなってしまうところもあるが、この番組の明るい感じは見ていて気持ちがよい。

『ロズウェル～星の恋人たち～』について：

- 1947年のロズウェル事件（UFO墜落が疑われた）を題材としたドラマ。高校生のリズは、自分の両親が経営するカフェで発砲事件に巻き込まれ、瀕死の重傷を負うが、偶然その場に居合わせた同級生のマックスという男の子が、不思議な力を使って彼女の傷を治してしまう。この事件をきっかけに、マックスは自分が異星人であるということをリズに知られてしまい、さらには、事件を聞き付けたFBIやエイリアンハンター等からも追われることになり…、というストーリー。
- 全61話あり、アメリカで1999年から2002年まで放送された。日本でも2001年から2004年にNHKで放送された作品。
- 少々大人向けの感じなので、現在の放送時間は合っているのでは？
- 小学校5、6年生は理解できない様子だった。
- ニューメキシコという保守的な場所が舞台だということで、少々特殊な作品なのではないか。
- 第1話で、既に物語の舞台の特殊な雰囲気が出ている気がする。
- 人との関わりや絆を求める描写が多いので、「家族」というものもテーマの一つなのかもしれない。
- この異星人の男の子マックスには、不思議な魅力がある。

『爆音家族』について：

- ロックバンドのギタリストになることを目指す15歳の高校生トリップが、今は落ちぶれた伝説のロックバンド「アイアン・ウィーゼル」に加わり、バンドメンバーのデレク、バーガー、アッシュらとともに、「アイアン・ウィーゼル」を再度ブレイクさせるべく奮闘する、という内容のストーリー。
- アメリカよりもハードロックバンドに対する認識が低い日本市場で、どの程度まで浸透するのだろうか。
- 登場人物が格好良い、デーモン小暮閣下のミュージックビデオがよい、などのコメントも寄せられている。
- 主題歌のプロモーションビデオはとてもよい。
- この番組は人気が出るのでは、と思う。
- 『ハンナ・モンタナ』よりも、実感を持って子供たちが入り込めるのではないだろうか。
- 我々の世代でも見ていて面白いと思う。
- 「アイアン・ウィーゼル」の成長を見たい。今後が楽しみな作品。

『ジャングル・ブック』について：

- ディズニーXDで放送予定の6～9歳の向けのアクションアドベンチャー作品で、11分×52話構成。
狼に育てられた少年モーグリが、賢いクマのバルーや力強いパンサーのパギーラなどの仲間たちと、厳しいジャングルの環境の中で冒険を繰り広げ、シア・カーンら強敵たちと渡り合うという内容のストーリー。
- インドの制作会社DQエンターテインメントとドイツやフランスの地上波局との共同制作。この制作会社は、以前ご紹介した『ミッキーマウス・クラブハウス』も制作しており、作品クオリティの高さには定評がある。
- CGアニメーションの面白さが出ている。大人も子供も楽しめそうな作品だと思う。
- 人間と動物が同サイズで助け合いながら共存している、という部分が興味深い。
- ターザンのようで面白い。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので19:00に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。